

日本民家園 花便り1月号(1)

～暮らしと植物～ 正月と春の七草

春の七草とは七種類の若菜のこと、正月七日にこの若菜類を粥にしました



(民家園内の七草)

**若菜とはひろく春草の初苗をさしています。一般にいう春の七草とは
セリ、ナズナ、ハハコグサ、ハコベ、タビラコ、カブ、ダイコン**

これらは、いずれも寒い時期に住居からさほど遠くまで採取に行かなくとも手に入るものでした

七草粥の風習：平安時代に始まった無病息災を願う宮中行事が、江戸時代には庶民の間にもひろがりました。正月を迎えた大阪や江戸などの大都市では「なずな、なずな」という七草売りの声が響いたそうです